

# 文芸 さくらがわ

## 俳句

【桜川市岩瀬「萩」俳句会】

響き合ふ光宿して菅の露

小林 啓治

風そよぐ木犀の香のありどころ

萩原 勲彦

頼ること出来ぬ生活の十三夜

小林 フク

木犀の香に亡き人を偲びけり

三代 みちよ

しぐるるや富士の名を持つ毛野の山

藤田 凡鐘

家中に木犀香る良き日かな

若色 寿美女

地震あそこはれし堀に渡り鳥

金田 とう女

針の糸通りて秋の深みけり

渡辺 いし

青き柿夜への嵐が落としゆく

入山 ひろ子

桐ダンス袷が過去を呼び寄せる

永瀬 ちい

日短や一人づつ減る遊びの輪

細谷 充女

夜長の灯いつも手元に拡大鏡

萩原 きしの

【茂山俳句会】

燈火親し老いの幸せ今を詠む

松崎 いま

方言の混じる持て成し秋ざくら

田崎 信子

子はすでに距離置くところ

秋灯 宮本 芳江

燈火親し「お晩でやす」と賢治来る

海老沢 静夫

燈火親し繰り返し読む古日記

大関 くに

それぞれの思ひを灯し被災の地

竹林 てる

噛み合わぬ老の語らい敬老日

笠倉 陽子

蠟燭や三角形の顔上げて

植田 祥雲

秋灯し客の帰りし三和土かな

吉原 秀子

しんがりに拍手惜しまぬ運動会

鈴木 ノブ子

一遍の道一筋や寂峰忌

金子 弘毅

浄瑠璃を一筋燈火親しめる

君島 真理子

燈火親しすぐに読みきる上下巻

海老沢 幸子

秋富士の見えるマンション下見して

今井 繁子

久闊や点すごとくに返り花

飯山 昭

## 短歌

【やまと早蕨歌会】

夜半嵐ねむれぬままに糸車想ひ出紡ぐ朝の  
くるまで

笠倉 仰雲

縁切れてちがふ人との出合ひあり万両の木  
に白き花つき

木藤 とみ

赤とんぼコスモス仲間に入りこみ風にゆら  
れて秋ふかまりつ

佐藤 悦子

震災の痛手を受けし人びとのころ和ます  
咲く秋ざくら

田中 きみ

義姉逝きて眺むる子等は足遠く人を待ちを  
る木木のみどりは

中原 すみ子

手摺なき橋をわたりて来し方のだんだん畑  
に蕎麦の花さく

中島 龍子

五時間の手術に耐えし夫の手を握ればかす  
かに笑みをかえしぬ

北条 正子

田の畦をかざる明日香の彼岸花真つ赤な色  
は秋色にきわむ

皆川 米子

地震あれば素早く速報たしかむるかの日の  
惨禍に臆高く居て

高久 真斉

## 俚謡

【さくら俚謡会】

萱をかき分け尋ねし泉喉を鳴らして水を飲  
む

一木 みどり

郷土うれしい豊作稲田米も安全皆笑顔

岩瀬 きみ子

振ってたたんだ傘より細く秋を無口な女と  
ゆく

稲葉 建正

重荷下ろしてイチロー笑顔二百安打は小休  
止

田 哲人

## 広報 さくらがわ 有料広告募集!

- サイズ 1 枠 29mm×85mm、2 枠 29mm×172mm
- 掲載料 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円  
(月額) ※連続掲載で割引制度があります。
- 問合先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268

## 広報 さくらがわ 有料広告募集!

- サイズ 1 枠 29mm×85mm、2 枠 29mm×172mm
- 掲載料 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円  
(月額) ※連続掲載で割引制度があります。
- 問合先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268